

宮崎県 【西都土木事務所】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削・樹木伐採

【概要】

○土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、河道掘削や樹木伐採を実施した。

令和6年度実績					
事業費	約3.4億	河道掘削	約2.7万m ³	樹木伐採	約2千m ²



林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全・治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	森林整備事業

【概要】

○森林の有する土砂流出防止や水源かん養機能等の適切な発揮に向け、引き続き下刈等の森林整備を実施

令和6年度実績			
植付	下刈	除伐	間伐
50ha	70ha	-	68ha



新富町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	ため池内堆積土砂掘削

【概要】

○近年、洪水量が著しく増加し降雨時に下流農耕地域及び家屋等が冠水被害を生じている。周辺の土地改良事業(ほ場整備)が完了し農業用ため池を洪水調節池として用途変更することを目的とし、ため池内の堆積土砂撤去を実施した。
○次年度以降も、大和地区洪水対策(障害防止事業)において引き続き実施していく。

令和6年度実施			
事業費	約6千万円	掘削土量	約10,000m ³



宮崎県 【西都土木事務所】 【高鍋土木事務所】	【大項目】区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】

○土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき、現在、3巡目の基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。
○指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP : www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

西都市	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災学習の推進
	【小項目】対策メニュー	防災フェスタの開催

【概要】

○令和6年3月1日、「西都市防災フェスタ」を西都原イベント広場にて開催した。
 ○自衛隊(新田原基地)、消防本部、宮崎県防災士ネットワーク西都支部、西都市赤十字奉仕団の協力のもとで、専用車輛や器材の展示、非常食の試食、みそ玉の配布、防災テントや段ボールトイレの紹介、ロープワークの体験などを行った。
 ○約500名の来場者があり、災害に対する備えや防災意識の向上など啓発を図った。



水タンク車、災害派遣器材、
消防車、救急車の展示



ドームテントでトイレ等の展示
ブルーシートテントの設営



ロープワークの体験

新富町	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災情報、避難体制の検討・連携強化 防災学習の推進
	【小項目】対策メニュー	総合防災訓練実施による関係機関連携強化及び小中学生の防災学習

【概要】

○南海トラフ地震を想定し、大規模災害時の関係防災機関との連携要領の確認と防災意識の高揚を目的として総合防災訓練を実施した。
 ○自衛隊、消防、消防団、行政で救助訓練を実施し、発災時における役割の確認と連携強化を図った。
 ○子どもをメインの対象とした体験型防災スタンプラリーを実施し、防災知識の向上と防災意識の啓発を図った。



開会式



トリアージ訓練



救助訓練



炊き出し訓練



心肺蘇生体験



水消火器体験

宮崎県 【危機管理課】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災情報の共有

【概要】

○宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D利活用システム

※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク



林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全・治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	森林整備事業

【概要】
 ○森林の有する土砂流出防止や水源かん養機能等の適切な発揮に向け、引き続き植付等の森林整備を実施

令和6年度実績			
植付	下刈	除伐	間伐
31ha	147ha	0.3ha	322ha



林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全・治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	治山事業

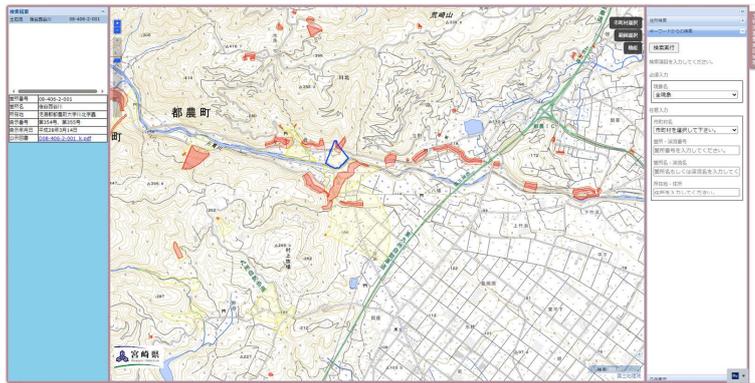
【概要】
 ○森林の多面的機能及び豪雨時の土砂流出防止に向けて、治山ダム設置を計画的に実施

令和6年度実績	
治山ダム	2基

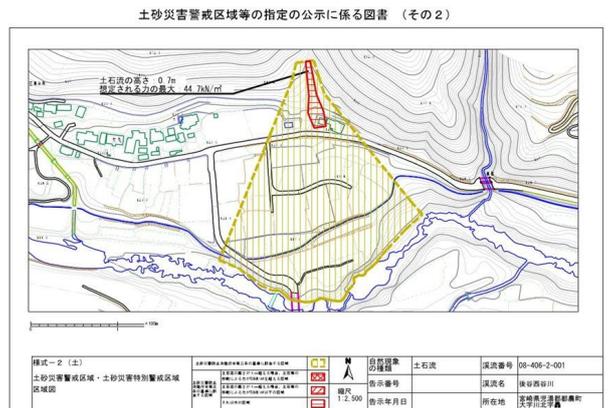


宮崎県 【高鍋土木事務所】	【大項目】区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】
 ○土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき、現在、3巡目の基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。
 ○指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
 HP : www.sabomap/miyazaki



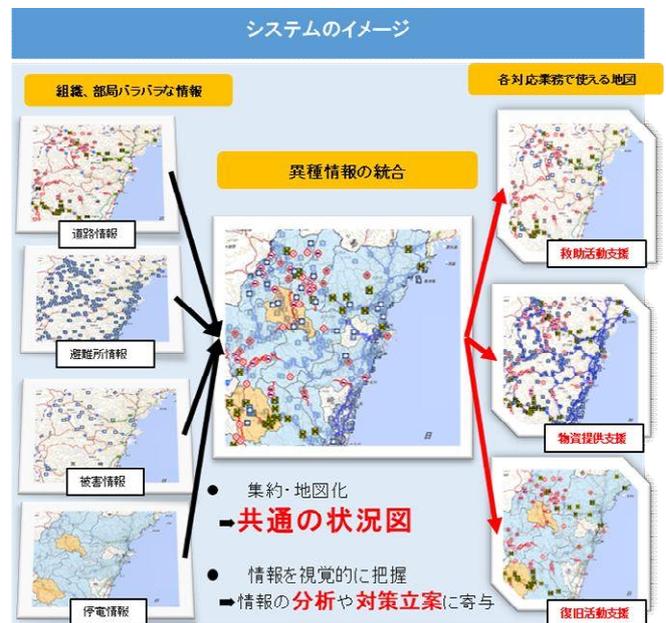
公表されている公示図書の一部

宮崎県 【危機管理課】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災情報の共有

【概要】
 ○宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D利活用システム
 ※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク



共有システム画面



宮崎県 川南町	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災情報、避難体制の検討・連携強化
	【小項目】対策メニュー	川南町総合防災訓練の実施

【概要】

- 地域の防災体制及び町民の防災意識の向上を図るため、全町民を対象に防災訓練を実施
- 役場職員、各自治公民館、自主防災組織が各々訓練内容を計画し、一斉に実施した。
- 防災行政無線(屋外・戸別)から災害発生をアナウンス。沿岸地域では自主防災組織を中心に住民を一時避難場所まで誘導するなど現実に即した訓練となった。



宮崎県 都農町	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地のリスク情報の充実・提供
	【小項目】対策メニュー	防災ハザードマップ更新・配布

【概要】

- 令和6年3月に都農町総合防災マップを作製し、翌月の4月に全世帯に配布
- Web版の防災マップも作成し、高潮及びため池の浸水想定区域の表示を追加

